



Measurement and Processing System

Multi Trigger System

画像・音刺激装置



MaP1035

概要

事象関連電位をはじめとする誘発反応実験や心理学・人間工学分野での画像と音を中心としたあらゆる刺激をコントロールするシステムです。シグナルプロセッサ(7T/DP)シリーズで培ったノウハウと最新のハードウェアにより、mS 単位の刺激時間制御と汎用的な画像データ(*.BMP,*.JPG)と音データ(*.WAV)を簡単な設定操作で利用できる刺激環境を実現しました。思いのままの生体信号計測環境を提供し科学研究を強力にサポートします。本刺激装置はユーザーニーズに応じてカスタマイズできるため、研究室の実験計画に応じたコストパフォーマンスの高い研究用システムを提供します。

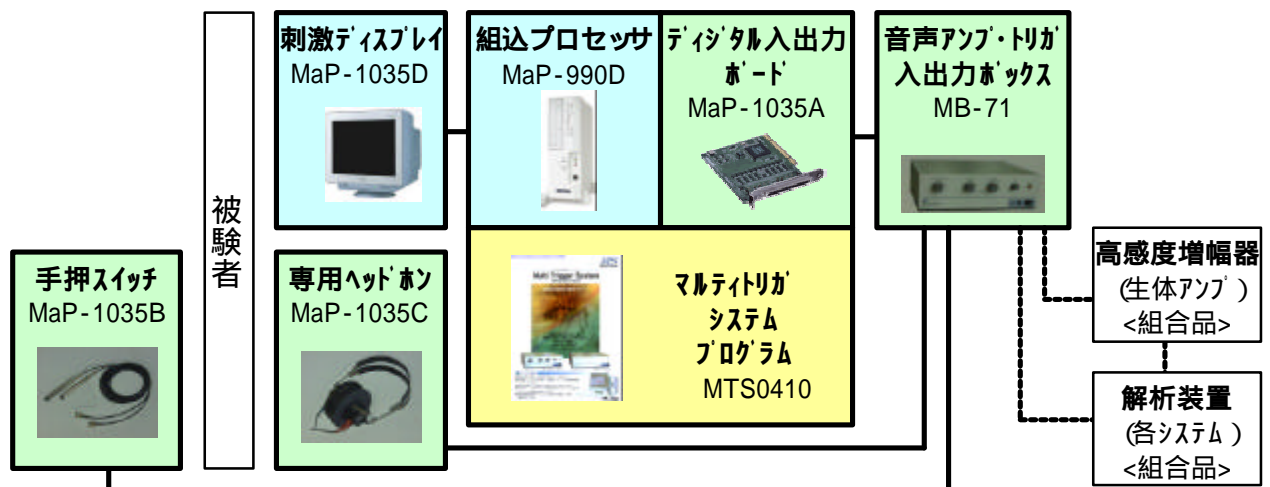
主な仕様

刺激方式	内部タイマ、外部トリガ、手動(手押しスイッチ)コントロール
画像ファイル	フルカラー、*.BMP,*.JPG
最大解像度	1024 x 768 (HighColor)
音声ファイル	*.wave (トーン、ノイズ音などの音刺激 WAVE 作成機能付)
刺激ヘッドホン	純音の音圧校正済
マスクングノイズ機能	方耳 or 両耳への呈示可能
刺激ソース登録ファイル数	500 個、(音に時間制限なし)
刺激トレイン機能	5 個まで設定可能
被験者反応時間計測	有(反応状態と反応時間のグラフ表示)、結果の CSV 出力
刺激条件の変更と保存	刺激間隔と刺激頻度(系列)の CSV ファイル機能
音・画像の同期	同時刺激が可能
CPU 部	Pentium プロセッサ 2.0(GHz)
記憶容量 メインメモリ	256(MB), HDD 80(GB)
OS	Windows2000 Pro.
補助記憶装置	3.5 インチ FDD、CD-ROM
筐体サイズ	W99 x D383 x H310 (mm) 8.0(Kg)
ディスプレイ	19 型 CRT(フラットディスプレイ)
デジタル入出力	各 10 系統、



設定画面の表示例

システム構成



* 音・画像刺激を行う本システムの構成ユニットを組合せ動作保証したものです。(技術支援費 MaP901EX を含む)
 * 本製品は仕様改善のため予告なく変更されることがあります。



ニホンサンテック株式会社

MaP 工房 / 〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通 9-40 Tel 06-6652-5984 Fax 06-7850-3671

#NST-MaP_HK#SX29